

美幌町における景気動向調査報告書

< 第Ⅲ四半期 >

美幌商工会議所

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成29年10月
- (2) 調査対象期間 平成29年7月～9月期実績及び10月～12月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

(1) 景気動向調査

会員事業所の中から小売業、サービス業、製造業、建設業、卸売業の5業種100事業所に対しアンケート方式により調査した。

- 本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値を示す。

○

業種別D I

業況(%)	今期(2017年7月～9月)の実績 (前期比)				2017年10月～12月の見通し (前期比)			
	好転	不変	悪化	D I 値	好転	不変	悪化	D I 値
全業種	34.5	48.3	17.2	+17.3	17.2	55.2	27.6	-10.4
小売業	11.1	55.6	33.3	-22.2	11.1	77.8	11.1	± 0.0
建設業	44.4	44.5	11.1	+33.3	11.1	55.6	33.3	-22.2
製造業	50.0	33.3	16.7	+33.3	16.7	16.7	66.6	-49.9
サービス業	33.3	66.7	0.0	+33.3	33.3	66.7	0.0	+33.3
卸売業	50.0	50.0	0.0	+50.0	50.0	50.0	0.0	+50.0

売上高(%)	今期(2017年7月～9月)の実績 (前期比)				2017年10月～12月の見通し (前期比)			
	増加	不変	減少	D I 値	増加	不変	減少	D I 値
全業種	41.4	41.4	17.2	+24.2	20.7	51.7	27.6	- 6.9
小売業	22.2	44.5	33.3	-11.1	22.2	55.6	22.2	± 0.0
建設業	55.6	33.3	11.1	+44.5	11.1	66.7	22.2	-11.1
製造業	50.0	33.3	16.7	+33.3	16.7	16.7	66.6	-49.9
サービス業	33.3	66.7	0.0	+33.3	33.3	66.7	0.0	+33.3
卸売業	50.0	50.0	0.0	+50.0	50.0	50.0	0.0	+50.0

※ 建設業は「完成工事高」、製造業は「生産高」を表す。

在庫水準 (%)	今期 (2017年7月~9月) の実績 (前期比)			
	過大	不変	不足	DI値
全業種	0.0	88.2	11.8	-11.8
小売業	0.0	100.0	0.0	± 0.0
建設業	-	-	-	-
製造業	0.0	66.7	33.3	-33.3
サービス業	-	-	-	-
卸売業	0.0	100.0	0.0	± 0.0

採算 (%)	今期 (2017年7月~9月) の実績 (前期比)			
	好転	不変	悪化	DI値
全業種	34.5	44.8	20.7	+13.8
小売業	22.2	44.5	33.3	-11.1
建設業	22.2	66.7	11.1	+11.1
製造業	50.0	16.7	33.3	+16.7
サービス業	66.7	33.3	0.0	+66.7
卸売業	50.0	50.0	0.0	+50.0

資金繰り (%)	今期 (2017年7月~9月) の実績 (前期比)				2017年10月~12月の見通し (前期比)			
	好転	不変	悪化	DI値	好転	不変	悪化	DI値
全業種	20.7	58.6	20.7	± 0.0	10.3	69.0	20.7	-10.4
小売業	11.1	55.6	33.3	-22.2	11.1	77.8	11.1	± 0.0
建設業	11.1	77.8	11.1	± 0.0	0.0	66.7	33.3	-33.3
製造業	33.3	33.4	33.3	± 0.0	0.0	66.7	33.3	-33.3
サービス業	66.7	33.3	0.0	+66.7	66.7	33.3	0.0	+66.7
卸売業	0.0	100.0	0.0	± 0.0	0.0	100.0	0.0	± 0.0

Ⅱ. 概 況 《 全体 の 動き 》

平成29年度第Ⅲ四半期<7月～9月>の美幌町における業況は、全業種で見ると前期比で「好転した」と答えた企業割合が34.5、「悪化した」と答えた企業割合が17.2、「好転」から「悪化」を差引いたD・I値は17.3ポイントとマイナスとなり、前期（7月～9月）と比較し25.4ポイント改善してきております。

業種別で前期と比較して見るとサービス業が33.3ポイントD・I値が増加しており、小売業も22.6ポイント増加しておりますがD・I値はマイナスであり、製造業が16.7ポイントD・I値が減少しており、建設業は変動していません。

また、今期と比較して来期（10月～12月）業況の見通しを全業種で見ると「好転する」と答えた企業割合が17.2、「悪化する」と答えた企業割合が27.6であり、D・I値△10.4となっており、年末に向け依然厳しい状況であると予測しています。

経営上及び業界の問題点を見ると、製造業では「原材料の値上げによる利益率の低下」、建設業では「工事量の減少」「人材不足」、製造業・サービス業でも「人材不足」との声が増えてきており、若手の定着が課題となってきました。

< 業 種 別 の 動 き >

1) 小 売 業 売上高 前期と比較して「増加した」と答えた企業割合が22.2、「減少した」と答えた企業割合が33.3、D・I値△11.1となっており、来期（10月～12月）の見通しをみると今期と比較して「増加する」と答えた企業割合と「減少する」と答えた企業割合が共に22.2、D・I値±0であり、年末に向けて多少の改善は予測されていますが大幅な改善は期待出来ないようです。

資金繰り 前期比で「好転した」と答えた企業は11.1「悪化した」と答えた企業割合が33.3、D・I値△22.2、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合と「悪化する」と答えた企業割合が共に11.1、D・I値±0となっており、売上の増加が見込まれないため資金繰りも安定しないようです。

2) 建 設 業 完成工事高 前期比で「増加した」と答えた企業割合が55.6、「減少した」と答えた企業割合が11.1、D・I値+44.5、来期の見通しをみると「増加する」と答えた企業割合が11.1、「減少する」と答えた企業割合が22.2、D・I値△11.1となっており、これから年末に向けては厳しい状況であると予測されています。

資金繰り 前期比で「好転した」と答えた企業割合と「悪化した」と答えた企業割合が11.1、D・I値±0、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が0、「悪化する」と答えた企業割合が33.3、D・I値△33.3となっており、時期的に工事高の増加が見込めない中、資金繰りも厳しいと予測されています。

3) 製造業 **生産高** 前期比で「増加した」と答えた企業割合が50.0、「減少した」と答えた企業割合が16.7、D・I値+33.3、来期の見通しをみると「増加する」と答えた企業割合が16.7、「減少する」と答えた企業割合が66.6、D・I値△49.9となっており、生産高の増加については期待できず悪化すると見込まれています。

資金繰り 前期比で「好転した」と答えた企業割合と「悪化した」と答えた企業割合が共に33.3、D・I値±0となっており、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が0、「悪化する」と答えた企業割合が33.3、D・I値△33.3となっており、生産高の増加が見込まれない中、資金繰りについても厳しくなると予測しています。

4) サービス業 **売上高** 前期比で「増加した」と答えた企業割合が33.3、「減少した」と答えた企業割合が0、D・I値+33.3、来期の見通しも同様であり、今期と比較して年末に向けて売上高の増加を期待しています。

資金繰り 前期比で「好転した」と答えた企業割合が66.7、「悪化した」と答えた企業割合が0、D・I値+66.7、来期の見通しも同様であり、売上の増加が見込まれる中資金繰りについても安定すると予測されています。

5) 卸売業 **売上高** 前期比で「増加した」と答えた企業割合が50.0、「減少した」と答えた企業割合が0、D・I値+50、来期の見通しも同様であり売上高の増加を見込んでいます。

資金繰り 前期比で「好転」と答えた企業割合と「悪化する」と答えた企業割合が共に0、D・I値±0、来期の見通しも同様であり、売上高が好調である見通しのため資金繰りについても特に問題が無いと予測されています。

業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
小 売 業	得意先の減少	人 件 費 増	同業者間の競合／人 材 不 足		
建 設 業	人 材 不 足	人 件 費 増	得意先減少／諸経費増／同業者間の競合		
製 造 業	人 材 不 足	得意先の減少	諸 経 費 増／同業者間の競合／人 件 費 増		
サービ業	人 材 不 足				
卸 売 業	得意先の減少				